

グアテマラ通信



青年海外協力隊

シニア海外ボランティア

日系社会青年ボランティア

日系社会シニア・ボランティア

平成26年度第4次隊

氏名：菅野 ひかる

職種：感染症・エイズ対策

派遣国：グアテマラ共和国

日常の中の武器

銀行や薬局の出入口、商店に品物を卸すトラックなど、街中の至る所で手に銃を構えた警備員の姿を見かけます。また、グアテマラの警察官は、手錠などの武器を衣類の外側に装着しています。

グアテマラに赴任した当初のわたしにとって、それらの光景はとても異様なものでした。日本で日常生活を送る中では、銃などの武器を直接目にする機会がほとんどないからです。

また、グアテマラでは、犯罪で捕まえられた人の様子を、手に掛けられた手錠を隠さずにニュースや新聞で報道しています。これも日本の文化との大きな違いのひとつであり、また人権に関する考え方も異なるのだと感じます。



銃を構えた警備員



ある日の新聞紙面

防犯対策

グアテマラに赴任した当初のわたしにとって、とても異様な光景に映ったもののひとつは、商店で客と店主の間を隔てる柵の存在です。

すべての店が同様ではありませんが、薬局や電子機器を扱う小売店などで柵が設置されている場合が多いように感じます。そのような店では、客が自由に商品を手にとって見るできない場合が多いです。

また、家を囲うブロック塀の上に、ガラスの破片を埋め込んである家を時々見かけます。家主にその理由を尋ねると、外からの侵入を防ぐ防犯対策であると言います。

ほとんどの住民が親戚や友人関係など何らかのつながりを持つこの小さな町で、人と人とのつながりや人の目が最大の防犯対策なのです。



柵越しにお買物



ガラスの埋め込まれたブロック塀